

かせきねんりょう

化石燃料にかわる再生可能エネルギー

さいせいかのう

かせきねんりょう しよう はつでん かりよく
化石燃料を使用する発電(火力
発電)は、地球温暖化の原因となる
CO2 が多く排出されるよ。



かせきねんりょう しよう ほうほう さいせいかのう
化石燃料の使用をへらすための方法として、「再生可能エネルギー」の利用があるよ。

さいせいかのう
再生可能エネルギーとは、たとえば太陽の光や風などを利用した、環境にやさしいエネルギーだよ。

いわてけん たいようこうはつでん ちねつはつでん ふうりよく
岩手県でも、太陽光発電、バイオマスエネルギー、地熱発電、風力発電、水力発電などいろいろな再生可能エネルギーがあるよ。

さいせいかのう どうにゆう しぜんかんきょう けいかん はいりょ
再生可能エネルギーの導入は、自然環境や景観に配慮することと、地元の理解を得られながら進めていくことが大事だよ。

太陽光発電

太陽光発電は、太陽電池を使って太陽光のもつエネルギーを電気に変えるよ。住宅用のものから、メガソーラーまで導入がすすんでいるよ。

岩手県は、県央から県南にかけての海岸沿いなど年間を通じて日照条件がよい地域が多く、日本海側に比べて、雪の影響も少ないことから太陽光発電に適した地域が広がっているよ。



メガソーラー (太陽光発電所)

出典：岩手県再生可能エネルギーポータルサイト

バイオマスエネルギー

バイオマスエネルギーは、化石燃料以外の動植物によるエネルギーのことで、木材や牛や豚などの家畜のふん尿、生ゴミなどさまざまあるよ。

県土の約8割が森林である岩手県にとって、木質バイオマスは持続可能なエネルギーであり、その利用拡大は、二酸化炭素の排出削減、林業・木材産業、木質燃料などの生産・流通による産業が盛んになり、岩手の強みを生かした再生可能エネルギーなんだ。



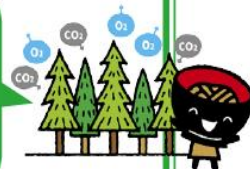
木質燃料の生産 (細い木や曲がった木を丸太にし、積み上げている)

出典：岩手県再生可能エネルギーポータルサイト

森林は二酸化炭素を吸収するタンク

植物は、日光を葉に浴びて、二酸化炭素と水を吸収することで、養分を作り、幹や枝や葉や根などが成長するんだ。これが光合成だよ。森林は、光合成をすることで、二酸化炭素を吸収してくれるんだ。

岩手県は日本で2番目に広い森林面積をもっているんだ。森林を大切にしていけることも、地球温暖化を防ぐために重要なことなんだよ。



地熱発電

地熱発電は、火山のマグマの熱で温められた熱水・蒸気を地中深くから取り出し、蒸気力でタービン（羽根車）を回して、発電機を動かして電気を作るよ。

岩手県には豊富な地熱資源があるんだ。八幡平市の松川地熱発電所は国内で一番最初に作られた発電所で、50年以上運転しているよ。運転を開始した10月8日は「地熱発電の日」に制定されているんだ。

また、2019年1月には、22年ぶりの新しい地熱発電所として、松尾八幡平地地熱発電所が運転を開始したよ。

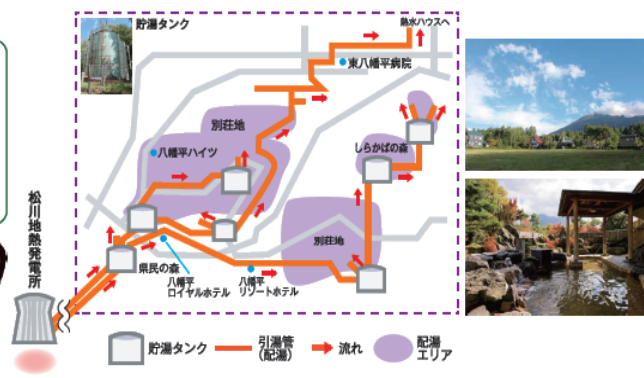


松川地熱発電所(出典:岩手県再生可能エネルギーポータルサイト)



温泉利用（八幡平市 八幡平温泉郷）

松川地熱発電所の地熱蒸気を利用して温泉を造成、八幡平温泉郷のホテル、旅館、別荘などにパイプで給湯してるよ。



松川地熱発電所の温泉利用について
(事業者向け地熱 温泉熱利用ガイドブックより)

ふうりょくはつでん 風力発電

風力発電は、風の力で風車を回し、その回る力を発電機に伝えて電気に変えるんだ。

ウインドファームのような大型から、学校などに設置される小型のものまであるよ。

岩手県は、県土が広く、安定した風に恵まれた地域が多いので、県内各地で風力発電の導入が進んでいるよ。



くずまき第二風力発電所(葛巻町)

R2年冬運転予定



2019年に運転開始した盛岡市の姫神ウィンドパーク
(環境生活企画室撮影)

